

<平成27年3月期 第1四半期決算参考資料>(連結)

	前第1四半期実績 平成26年3月期	当期実績 当第1四半期実績 平成27年3月期	第2四半期連結 累計期間予想 平成27年3月期	通 期 予 想 平成27年3月期
売上高	4,094 億円	5,138 億円	10,900 億円	23,000 億円
営業利益	160 億円	310 億円	550 億円	1,350 億円
<利益率>	< 3.9% >	< 6.0% >	< 5.0% >	< 5.9% >
		(増益要因) 為替 83億円 台数・車種構成等 65億円 資材費等コスト低減 35億円 販売費用 5億円 (減益要因) その他 ▲38億円 対前年 変動計 150億円		(増益要因) 台数・車種構成等 310億円 資材費等コスト低減 180億円 (減益要因) 為替 ▲130億円 販売費用 ▲70億円 その他 ▲174億円 対前年 変動計 116億円
経常利益	223 億円	326 億円	560 億円	1,380 億円
<利益率>	< 5.4% >	< 6.4% >	< 5.1% >	< 6.0% >
当期純利益	164 億円	282 億円	430 億円	1,100 億円
<利益率>	< 4.0% >	< 5.5% >	< 3.9% >	< 4.8% >
為 替 (売上レート)	98 円/US\$ 127 円/1-円	102 円/US\$ 140 円/1-円	101 円/US\$程度 139 円/1-円程度 (第2四半期：100円/US\$) (第2四半期：138円/1-円)	100 円/US\$程度 139 円/1-円程度 (第2四半期以降：100円/US\$) (第2四半期以降：138円/1-円)
設備投資 (計上ベース)	182 億円	88 億円		900 億円
減価償却費	132 億円	124 億円		580 億円
研究開発費	167 億円	164 億円		720 億円
有利子負債残高	3,143 億円	1,977 億円		
総資産	13,991 億円	14,857 億円		
売上台数	250 千台	315 千台	664 千台	1,402 千台
国内	51 千台	76 千台	157 千台	321 千台
海外	199 千台	239 千台	507 千台	1,081 千台
生産台数 (自工会ベース)	268 千台	313 千台		
業績評価		増収増益		

2014年度第1四半期決算を発表

三菱自動車は本日、2014年度(2015年3月期)第1四半期決算を発表しました。

1. 業績概況

2014年度第1四半期(2014年4月1日～6月30日)の売上高は、前年同期比1,044億円(25%)増の5,138億円となりました。

営業利益は、台数ミックスの改善、コスト低減努力、為替の好転などにより、前年同期比150億円(93%)増の310億円となりました。

経常利益は、前年同期比103億円(46%)増の326億円となりました。また当期純利益は、前年同期比118億円(71%)増の282億円となり、第1四半期としては営業利益、経常利益、純利益の全ての利益項目において、過去最高益を達成しました。また、営業利益は第1四半期として、5期連続の増益となりました。

2. 販売台数

2014年度第1四半期の販売台数は、前年同期比9千台(4%)増の258千台となりました。

地域別には、日本では、軽自動車が前年同期並みとなったものの、登録車が前年同期を下回り、全体では前年同期比1千台(2%)減の27千台となりました。

北米は、米国で主力車種の『アウトランダースポーツ』に加え、昨年度投入した新型『アウトランダー』や『ミラージュ』が好調に推移し、全体としては前年同期比5千台(22%)増の28千台となりました。

欧州は、『アウトランダーPHEV』の投入効果により、前年同期比5千台(11%)増の52千台となりました。

アジアは、タイで2012年12月にファーストカーバイヤープログラムが終了したことによる消費者の購入意欲減退に加え、クーデター発生による政情不安の影響などにより販売が減少しましたが、中国で广汽三菱汽車を中心に販売台数を大きく伸ばし、全体としては前年同期比3千台(3%)増の84千台となりました。

その他地域では、中東・アフリカで前年同期を上回ったものの、豪州・ニュージーランド、中南米で前年同期を下回り、地域全体で前年同期比3千台(4%)減の67千台となりました。

3. 2014年度業績見通し

本年4月24日に公表した2014年度第2四半期累計期間及び当年度通期の連結業績見通しについては、変更ありません。

以上

【お問い合わせ先】

広報部 メディアリレーショングループ担当：山西、稲田
代表 03-6852-4274・4276

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的风险や不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。



2014年度 第1四半期 決算説明会

三菱自動車工業株式会社

2014年7月30日

2014年度 第1四半期 実績



パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム2014
『MiEV Evolution III』が電気自動車改造クラスで初優勝

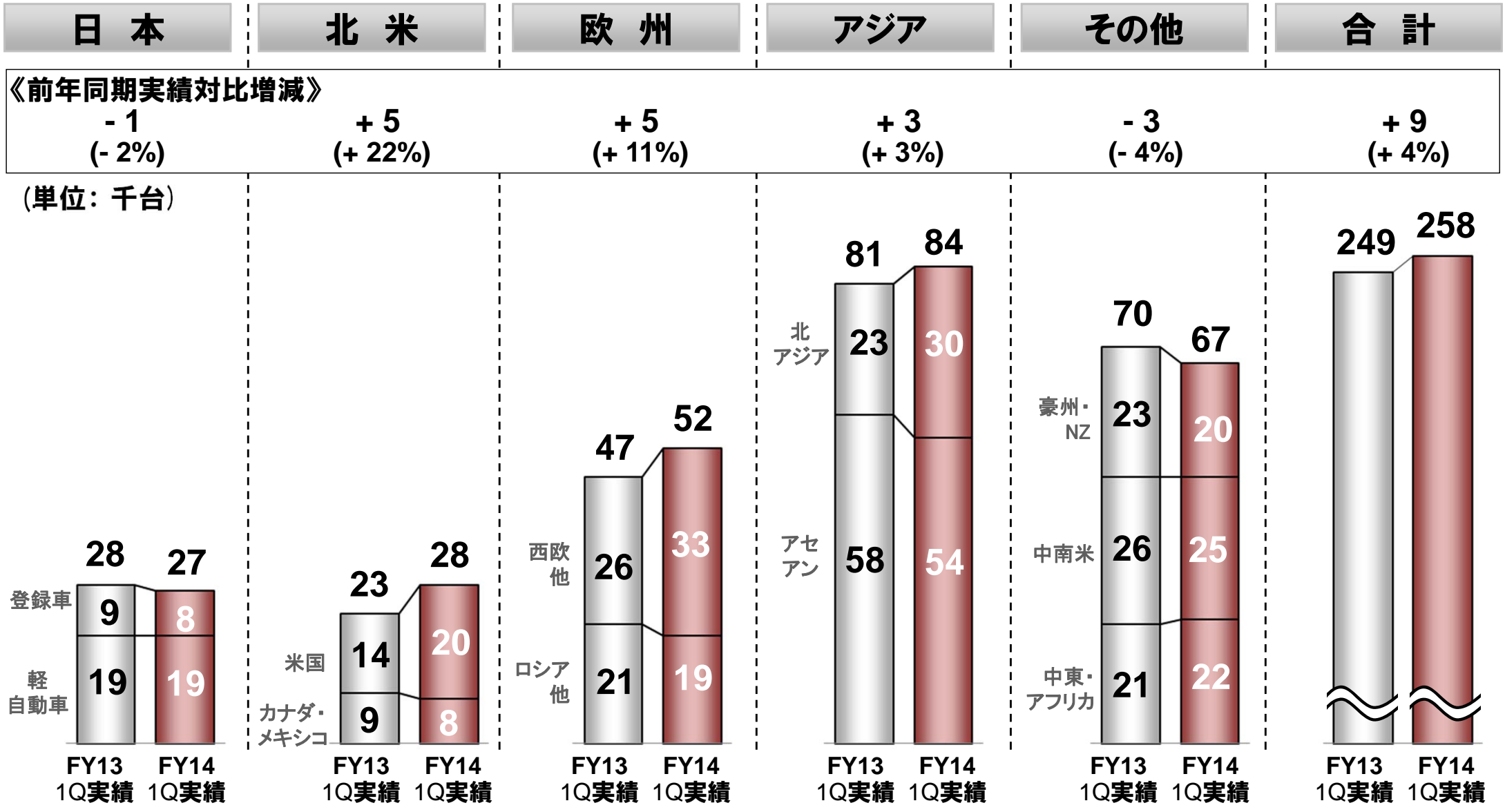
第1四半期の営業利益は5期連続増益(過去最高益)を達成

(単位: 億円)

	FY13 1Q ('13/4-'13/6)	FY14 1Q ('14/4-'14/6)	増減	
	実績	実績	差異	率
売上高	4,094	5,138	+1,044	+25%
営業利益 (利益率)	160 (3.9%)	310 (6.0%)	+150	+93%
経常利益 (利益率)	223 (5.4%)	326 (6.4%)	+103	+46%
当期利益 (利益率)	164 (4.0%)	282 (5.5%)	+118	+71%

2014年度 第1四半期 小売台数実績 【前年同期対比】

米国、西欧、北アジアで伸長し、前年同期を9千台上回る



※注) 14年度第1四半期小売台数実績は速報値。

営業利益増減分析【前年同期対比】

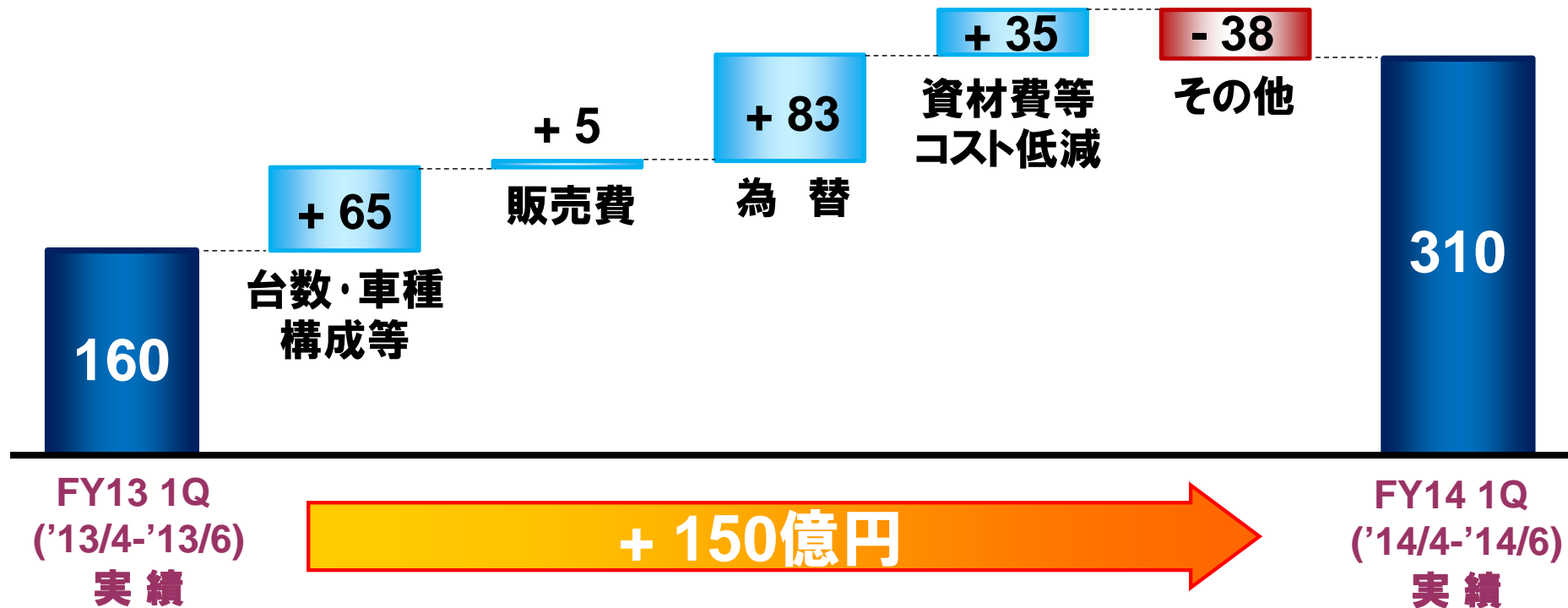
台数MIXの改善、コスト低減努力、為替の好転により増益

(単位：億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	+ 37
北米	- 8
欧州	+ 23
アジア	- 8
その他	+ 21

主要通貨別内訳			
	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY13	FY14	
米ドル	98	102	+ 11
ユーロ	127	140	+ 34
豪ドル	99	95	- 15
タイバーツ	3.31	3.15	+ 31

その他の主な内訳	
間接員労務費	- 12
部用品 他	- 26



販売台数・売上・利益ともに期初公表計画から変更なし

(単位: 億円、千台)

	FY13 ('13/4-'14/3)	FY14 ('14/4-'15/3)	増減	
	実績	見通し	差異	率
売上高	20,934	23,000	+2,066	+10%
営業利益 (利益率)	1,234 (5.9%)	1,350 (5.9%)	+116	+9%
経常利益 (利益率)	1,295 (6.2%)	1,380 (6.0%)	+85	+7%
当期利益 (利益率)	1,047 (5.0%)	1,100 (4.8%)	+53	+5%
販売台数	1,047	1,182	+135	+13%

■ 2014年度第1四半期実績

第1四半期の営業利益は5期連続増益(過去最高益)を達成

- 販売台数(小売) : 前年同期比 4%増加の258千台
- 販売台数(卸売) : 前年同期比 26%増加の315千台
- 売上高 : 前年同期比 25%増収の 5,138億円
- 営業利益 : 前年同期比 93%増益の 310億円
- 経常利益 : 前年同期比 46%増益の 326億円
- 当期利益 : 前年同期比 71%増益の 282億円

■ 2014年度通期見通し

販売台数・売上・利益ともに期初公表計画から変更なし

- 販売台数(小売) : 前年比 13%増加の1,182千台
- 販売台数(卸売) : 前年比 12%増加の1,402千台
- 売上高 : 前年比 10%増収の 23,000億円
- 営業利益 : 前年比 9%増益の 1,350億円
- 経常利益 : 前年比 7%増益の 1,380億円
- 当期利益 : 前年比 5%増益の 1,100億円

Appendix



(単位：億円)

	FY13 1Q ('13/4-'13/6) 実績	FY14 1Q ('14/4-'14/6) 実績	増減
売上高	4,094	5,138	+ 1,044
- 日本	842	1,085	+ 243
- 北米	443	478	+ 35
- 欧州	849	1,475	+ 626
- アジア	846	953	+ 107
- その他	1,114	1,147	+ 33
営業利益	160	310	+ 150
- 日本	- 58	- 21	+ 37
- 北米	- 23	- 22	+ 1
- 欧州	47	126	+ 79
- アジア	127	110	- 17
- その他	67	117	+ 50

2014年度 地域別業績見通し【前年度対比】

(単位: 億円)

	FY13 実績	FY14 見通し	増減
売上高	20,934	23,000	+2,066
- 日本	4,741	5,000	+259
- 北米	2,294	2,200	- 94
- 欧州	4,843	5,500	+657
- アジア	4,157	5,400	+1,243
- その他	4,899	4,900	+1
営業利益	1,234	1,350	+ 116
- 日本	9	30	+21
- 北米	- 38	0	+38
- 欧州	372	480	+108
- アジア	598	570	- 28
- その他	293	270	- 23

貸借対照表【前年度末対比】

(単位：億円)

	FY13 末 (' 14/3月末)	FY14 1Q末 (' 14/6月末)	増 減
資 産 合 計	15,439	14,857	- 582
うち 現金預金	4,501	4,249	- 252
売上債権	1,735	1,487	- 248
たな卸資産	2,075	2,085	+ 10
負 債 合 計	9,939	9,304	- 635
うち 仕入債務	3,557	3,347	- 210
有利子負債	2,224	1,977	- 247
純資産合計	5,500	5,553	+ 53

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	FY13 1Q ('13/4-'13/6) 実績	FY14 1Q ('14/4-'14/6) 実績	FY14 ('14/4-'15/3) 通期見通し
設備投資 (前年同期比)	182 (+50%)	88 (- 52%)	900 (+25%)
減価償却費 (前年同期比)	132 (+8%)	124 (- 6%)	580 (+10%)
研究開発費 (前年同期比)	167 (+18%)	164 (- 2%)	720 (+7%)

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS